

令和4年1月11日

【郷土の美術品に触れてみませんか】

「菊池市所蔵絵画展」を開催します

菊池市教育委員会では、郷土ゆかりの方の作品を中心に約250点におよぶ絵画を所蔵しています。これらの絵画を市民により身近に感じてもらい、郷土の美術品に親しむきっかけを作ることを目的に、市役所や支所ロビーでの所蔵絵画展を開催。道に関するものをモチーフとして描いた絵画を中心に、4人の作家による作品を展示します。

■展示期間・場所（※各施設とも土日祝日を除く）

- 1月12日（水）午後～1月26日（水）：菊池市役所1階ロビー
- 1月31日（月）～2月10日（木）：菊池市七城支所ロビー
- 2月14日（月）～2月25日（金）：菊池市泗水支所1階ロビー
- 2月28日（月）～3月11日（金）：菊池市旭志支所ロビー



かたせひろし 作品「木佐木」

■作家概要

おおつかこうじ
大塚耕二（1914～1945）油彩画家

菊池郡隈府に生まれ、旧制鹿本中学校（現・鹿本高等学校）卒業後、1934年に帝国美術学校（現・武蔵野美術大学）西洋画科に入学。シュルレアリスム（超現実主義）や抽象絵画など前衛美術運動に傾倒し、同じ志向を持つ友人たちとグループ〈表現〉を結成し、展覧会活動を行った。国内のみならず海外からも高い評価を得ている。太平洋戦争の勃発した1941年召集に応じ、終戦間際の1945年7月ルソン島にて31歳で戦死。作品の多くは熊本県立美術館及び菊池市に所蔵されている。

きかたのりお
坂田憲雄（1914～2003）油彩画家

益城町に生まれ、旧制御船中学校（現・御船高等学校）では富田至誠（井手宣通や浜田知明らを育成した人物）に学ぶ。晩年は菊池の自然を愛し、温泉旅館に滞在して数多くの風景画を描く。没後長男である坂田憲一氏より162点が菊池市に寄贈されている。

かたせひろし
片瀬弘（1894～1989）水彩画家（水彩画、初期の頃は日本画も描く）

菊池郡隈府に生まれ、旧制鹿本中学校卒業後、台湾総督府国語学校師範部に入学、卒業後1927年まで同地の公立学校教師として勤務。終戦を期に帰国、菊池郡迫間に移り住んだ。教科書出版に携わりながら水彩による絵画制作を続け、1960年に県外へ転居するまでの十数年間に故郷の風景を数多く描き残した。1991年、次女である内藤玲子氏より40点が菊池市に寄贈されている。

いどうまさお
井堂雅夫（1945～2016）木版画家（木版画・タブロー・水彩画など多種の技法作家）

中国大陸東北部に生まれ、15歳まで盛岡で過ごす。1961年、伝統工芸士で染料家の吉田光甫に弟子入り。1971年には日展評議員で染料家の大坪重周に師事。絹の生地などにアクリル絵画で描く肉筆画も多く残している。

周知のための記事掲載および取材についてどうぞよろしくお願ひします。

■本件に関するお問い合わせ先 菊池市教育委員会生涯学習課 担当：古庄・阿南・末武
MAIL：shakaikyoku@city.kikuchi.lg.jp TEL：0968(25)7232 FAX：0968(25)5004